

癌化学療法輸液約束処方 呼 37

癌種 非小細胞肺癌(StageⅢB/Ⅳ) (入院)
 レジメン名 呼37 CDDP + Pem + Bev

薬品名(商品名)	一般名	略号	標準投与量	投与経路	投与日	1クール期間
アリムタ	ベメトレキセド	Pem	500 mg/m ²	div	DAY 1	21～28日間
シスプラチン	シスプラチン	CDDP	75 mg/m ²	div	DAY 1	
アバスチン	ベバシヅマブ	Bev	15 mg/kg	1コース目90分 2コース目60分 3コース目以降30分	DAY 1	

[DAY 1]

- ① NS 500ml / 90分
- ② NS 500ml + マグネゾール20ml / 90分
- ③ NS 50ml + デキサート 2V / 5分
- ④ NS 50ml + アロキシ1V + アロカリス 1V / 30分
- ⑤ NS 100ml + アリムタ _____ mg / 10分
- ⑥ NS 100ml / 30分
- ⑦ NS 300ml + シスプラチン _____ mg / 120分
- ⑧ マンニトール300ml / 60分
- ⑨ NS 500ml / 90分
- ⑩ NS 100ml + アバスチン _____ mg / (1コース目90分、2コース目60分、3コース目以降30分)
- ⑪ NS 50ml / 5分
- ⑫ ソルデム3A 500ml + メトクロプラミド 1A / 90分
- ⑬ ソルデム3A 500ml + メトクロプラミド 1A / 90分

【DAY 2,3】

- ① NS 500ml / 90分
- ② NS 50ml + デキサート 1V / 5分
- ③ ソルデム3A 500ml + メトクロプラミド 1A / 90分
- ④ ソルデム3A 500ml + メトクロプラミド 1A / 90分

【備考】

- ① 輸液の量(hydration)は、主治医判断で減量可。
- ② シスプラチンの溶解液は 生理食塩水500mlから200mlを破棄して使用する。
- ③ アリムタ投与7日以上前から、パンビタン末1.0gを連日経口投与。投与終了後22日まで。(添付文書)
- ④ アリムタ投与7日以上前にビタミンB12 1.0mgを筋肉内注射し、アリムタ治療中は9週毎にくり返す。(添付文書)
- ⑤ 実臨床においては、パンビタン(葉酸)及びVB12の投与はアリムタ投与日まで(投与当日開始も可)に開始すれば可とする。
 投与期間中は必須。(H28.5.13の院内化学療法委員会にて承認)

H29.2.21作成
R4.12.2 改訂